

# 自治基本条例特集 [part. 11]

町民が主役のまちづくりを目指して

自治基本条例（仮称）の策定に向けた取り組みが始まって、約5か月が経過しました。今月号では、これまでの検討委員会を振り返ります。

## これまでの検討委員会のまとめ

条例づくりの具体的な取り組みは、キックオフ（取り組みの開始）として開催した「自治基本条例フォーラム in TOGO」から始まり、これまで計4回の検討委員会を開催してきました。この第1回から第4回までの委員会は、まだ「ステップ1」の段階。ステップ1では、具体的な条例の検討は行わず、まずは東郷町の特徴などを様々な視点・角度から見つめ直し、議論を重ね、町に対する委員の皆さんの考え方（条例づくりの土台となる重要な部分）を整理し、共有してきました。概略は、この特集でお伝えしてきましたとおりです。そして、次回（第5回…3月22日開催）からは、具体的な条例案の検討・作成を行う「ステップ2」に突入します。これからも様々な方法で町民の皆さんに周知していきますので、今後の動きに注目してください。

これまでのグループワークのテーマと内容

	テーマ	話し合った内容
第1回	夢語り「希望の葉っぱ～願いを込めて」	自治基本条例に期待すること、盛り込みたい思いなど
第2回	現状分析！東郷のまち。ここがスキ！ここがキライ！	まちのスキなところ（自慢・誇り）とキライなところ（問題点・課題）
第3回	なったらいいナ！こんなまち～東郷町未来ものがたり	自慢や課題を整理した上でのまちの将来像（ビジョン）
第4回	東郷の町民・行政・議会できてるネ！ここまでは…	町民、行政、議会の現状についての評価および改善に向けた提案

## これまでの作業が今後の条例づくりにつながるのか

これまでステップ1で取り組んできたテーマを振り返ると、「夢」とか「スキ・キライ」、「できてるネ」など、とても条例づくり検討委員会のテーマとは思えませんよね。でも、この作業、実はとても重要な作業なんです。

東郷の自治の基本となる条例（ルール）を考える上でまず重要なことは、東郷町のことをよく理解することです。東郷町をよく知らないのに、「東郷ならではの」の条例は作れないからです。つまり、東郷の特徴や課題を整理してきたこれまでの作業は、「東郷ならではの」の条例づくりの土台を作る重要な作業だったわけです。

